

Part 1 基本情報

1. ウルグアイプロフィール

- (1)正式名称 (和文)ウルグアイ東方共和国
(英文)Oriental Republic of Uruguay
- (2)政体 立憲共和制
- (3)首都 モンテビデオ
- (4)面積 17.6万平方km
- (5)人口 333万人(2008年)
- (6)民族 スペイン、イタリア系が大半
- (7)言語 スペイン語
- (8)宗教 カトリック教が大多数 (信仰の自由あり)
- (9)略史
- | | |
|---------|---------------------------------|
| 1825年 | 独立宣言(8月25日、独立記念日) |
| 1903年 | バジェ大統領、民主主義政策、社会保障整備を推進 |
| 1973年 | 極左テロ鎮圧により軍部台頭、議会閉鎖(軍政化) |
| 1984年 | 軍部及び政党関係者の合意により民政移管を発表 |
| 1985年3月 | サンギネッティ大統領就任(コロラド党)(民政移管) |
| 1990年3月 | ラカジェ大統領就任(国民党) |
| 1995年3月 | サンギネッティ大統領就任(コロラド党) |
| 2000年3月 | バジェ大統領就任(コロラド党) |
| 2005年3月 | バスケス大統領就任(EP/FA(進歩会議・拡大戦線党:左派)) |
| 2010年3月 | ムヒカ大統領就任(EP/FA(進歩会議・拡大戦線党:左派)) |
- (10)在留日本人 383人(日系人約340人)(2007年)
- (11)気候 温暖。冬の7月の平均気温は10.5、夏の1月は22.5。

[参考]「外務省ホームページ-各国・地域情勢」外務省

2. 業務のための基礎データ

(1)JICA事務所の概要

【JICAウルグアイ支所 JICA URUGUAY OFFICE】

住所 :Bulevar General Artigas 417, Of.601, Montevideo, URUGUAY

郵便物宛先 :Casilla de Correo 330, Montevideo, URUGUAY

電話 : (598)2712-2723,710-2724

FAX : (598)2710-3917

E-Mail :ur_oso_rep@jica.go.jp

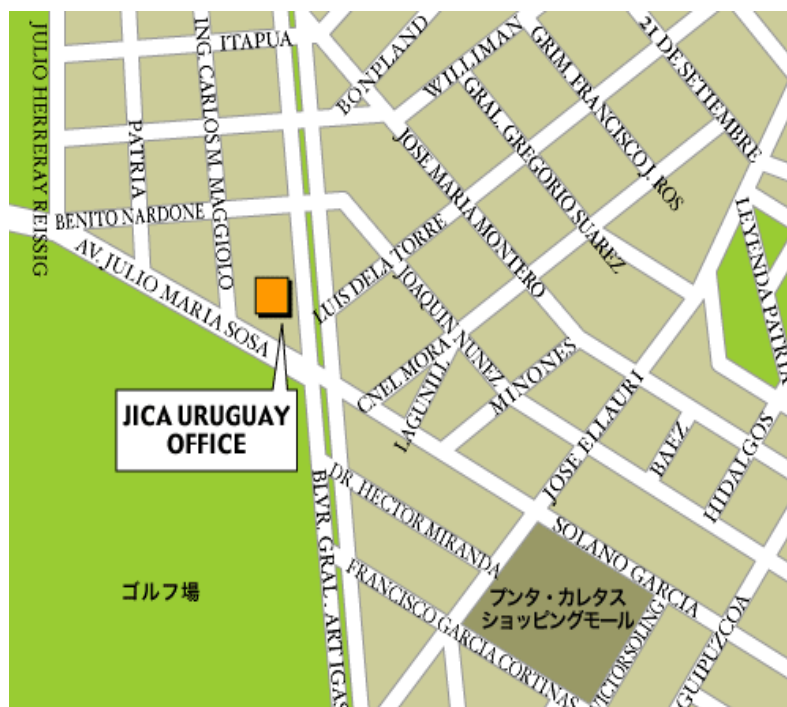
勤務時間 :9:00~17:00(昼食時間:12:30~13:30)

休日：下記祝日及び土曜日、日曜日(平成23年度)

1月 3日	年始休暇	
1月 6日	子供の日(＊)	
2月11日	建国記念の日	
3月 7日	カーニバル(＊)	
3月 8日	カーニバル(＊)	
4月18日	33人の戦士上陸記念日(＊)	
4月21日	観光週間(＊)	
4月22日	観光週間(＊)	
5月16日	ラス・ピエドラス決戦の日(＊)	
7月18日	ウルグアイ憲法記念日(＊)	
8月25日	ウルグアイ独立記念日(＊)	
9月19日	敬老の日	
10月10日	民族の日(＊)	
11月 2日	万霊節(＊)	
12月23日	天皇誕生日	
12月29日	年末休暇	
12月30日	年末休暇	(＊)はウルグアイの祝祭日

事務所までの交通：該当情報なし。

(2) JICA事務所周辺地図



(3) 日本との時差	日本との時差：(3月～9月)日本より12時間おくれ。(10月～3月)日本より11時間おくれ。
サマータイム	サマータイム：10月～3月。

- (4) 祝日、官公庁の休日
 祝日 : (平成23年度)
 1月 1日 元旦
 1月 6日 子供の日
 3月 7日 カーニバル
 3月 8日 カーニバル
 4月 21日 観光週間
 4月 22日 観光週間
 4月 19日 33人の戦士上陸記念日(＊)
 5月 1日 メーデー
 5月 18日 ラスピエドラスの戦いの日(＊)
 6月 19日 アルティガス誕生記念日
 7月 18日 ウルグアイ憲法記念日(＊)
 8月 25日 ウルグアイ独立記念日
 10月 12日 コロンブス記念日(＊)
 11月 2日 万霊節(＊)
 12月 25日 クリスマス
 (同国の慣行により、週半ばにある祝日(＊)は、同週の金曜日もしくは月曜に変更される可能性がある。変更日は該当日の約10日前に発表される)
 官公庁の休日 : 上記祝日及び土曜日、日曜日
- (5) ビジネスアワー
 官庁 : (3月～10月)9:00～17:00、(11月～2月)8:00～16:00
 銀行 : 13:00～17:00
 商店 : ショッピングセンター 10:00～22:00
- (6) 言語
 公用語はスペイン語。ホテル、買い物、観光地などでは英語が通じることもある。
- (7) 通貨
 通貨 : ウルグアイペソ
- (8) 通貨レート
 為替レート : 1米ドル = 18.6ペソ(2011年8月)(銀行間取引レート売買中間値、中銀)
 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.Bloomberg.co.jp/analysis/calculators/currency.html>
 (「ブルームバーグ 為替レート計算」)
- (9) 関係機関
 【在ウルグアイ日本大使館】
 住所 : Bulevar Artigas 953, Montevideo, Uruguay(Casilla de Correo 1273)
 電話 : (598)2418-7645
 FAX : (598)2418-7980
- (10) 有用サイト
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uruguay/> (外務省「各国・地域情勢」)
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

モンテビデオには5つ星のホテルがある。比較的好く日本人が利用するホテルは、次のとおりである。

< 5つ星のホテル >

・Belmont House

電話 : 2600-0430

・Radisson Montevideo Victoria Plaza

電話 : 2902-0111

・Sheraton Montevideo Hotel

電話 : 2710-2121

< 4つ星ホテル >

・Regency Suites Hotel

電話 : 2600-1383

・Armon Suite

電話 : 2712-4120

・Tryp Montevideo

電話 : 2710-3800

・Best Western Pedro Figari

電話 : 2600-8824

・Cala Di Volpe Boutique Hotel

電話 : 2710-2000

・Regency Golf Urbano

電話 : 2710-4444

・Hotel Embajador

電話 : 2902-0012

・Lafayette

電話 : 2902-4646

・NH Columbia

電話 : 2916-0001

< 3つ星ホテル >

・Punta Trouville apart & suite

電話 : 2712-0903

よく利用されているホテルは、Sheraton、Belmont House、Trouville、Tryp

である。ちなみに3つ星のホテルが日本のビジネスホテル程度で、4つ星のホテルがそれより若干部屋が広く内装がよい。価格は5つ星で180～250ドル、4つ星で150ドル前後、3つ星で100ドル程度である。

1-2 住宅事情

外国人に対しては、ドル建てで契約でき、長年居つかれる心配も少ないことから、外国人向けの住宅は過剰気味で、あっせん業者に頼めばいろいろ希望に応じて案内してもらえる。ただし、夏季にはアルゼンチンやブラジルからの長期滞在者が増加するため、物件は少なめになる。

住宅としては、アパートと独立家屋の両方がある。独立家屋は庭もあり、ほかの居住者からも離れて、気分的にリラックスすることができるが、庭や建物などの管理を自分でしなければならない。一方、アパートは建物、暖房設備の管理などを管理人がいてやってくれる。寝室、サロン、食堂、キッチン、シャワーおよびバスタブ、トイレからなり、モンテビデオ市内は家具付きのものも多い。家具付きの場合、通常、シーツ、まくらカバーなど、一部の寝具類を除いてほとんどの家具、食器、寝具が備え付けてある。

1-3 住宅の探し方

あっせん業者、知人の紹介、新聞広告などの方法があるが、やはりもっとも確実な方法は信用のおけるあっせん業者を紹介してもらうことである。主なあっせん業者は、次のとおりである。

・Inmobiliaria Katz

電話：2622-0784/2623-0253

・Inmobiliaria del Castillo

電話：2712-4454/2711-0661

1-4 住宅選定上の留意点

実際に借家を決める場合に、あっせん業者にいちおうのめどとなる主な条件、例えば寝室の数、場所、アパートの場合は階数などを事前に示し、数軒のなかから気に入ったものを選ぶようにする。日本人はとかく性急に事を運ぼうとするが、ウルグアイではじっくりかまえて丹念にひとつひとつ確かめるのがよい。

Pocitos、Punta Carretas、Buceo、Punta Gorda、Carrascoなどが高級住宅地で、比較的治安もよく住宅選定に適した地域である。参考までに、以下にチェックポイントをあげておく。

(交通の便、日当たり、騒音、暖房設備、停電・断水の有無、家具・調度品、電話・管理人の有無、家主の人柄、管理費、防火設備、部屋数、建物の状況、非常電源、温水設備、治安、台所・浴室の状況、車庫(特にドアの開閉と非常電源の有無)、買物の便、家賃、支払い条件、保証金の有無、防犯設備)

特に浴室用温水設備は電気式が多いので、確認が必要である。単身者であ

ればタンク容量 120リットルのもので日本式の入浴も可能であるが、3人家族ではシャワーだけで最後には冷たくなるので時差入浴が必要となる。古い建物には日本式の瞬間湯わかし器がついているが、当地のガスは清浄度が低く、月に1度掃除が必要であり、費用がかかるうえにすぐきてくれる保証はない。新しい住宅にはスーパーガスというボンベ入りのガスを使用する型の温水器がついているが、予備ボンベの準備、使用中のボンベ取り替えなどの手間がかかる。

1-5 住宅の契約

一般ウルグアイ人の場合は、保証金の積立てないしは連帯保証人を立てることが要求される。一般のあっせん業者の仲介による場合は、一般ウルグアイ人と同様の条件が要求される。家賃は原則として前払いであるため、契約と同時に入居する時に1ヵ月分を契約時に支払わなければならない。あっせん業者に対しては、月額家賃の0.5～1ヵ月分を支払うことになっている。契約期間は1年が原則である。2年契約の場合は、契約期間内に転居、帰国並びにインフレなどによる家賃の値上げなどが起こり、契約内容変更の可能性がある。1年契約とし、契約更新する場合は再契約とするのが普通である。なお外国人の場合、ドル建て契約が一般的である。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

入居者が支払う諸経費には、アパートの場合、共益費(暖房、管理人、掃除人の給与、水道代など)、電気代、電話代、ガス代、市税がある。車庫代は、通常、家賃に含まれる。独立家屋の場合も門番、掃除人の給与を除き、同様の諸経費の支払いがある。また設備改善の要求は契約前の交渉で行なうのが原則である。

1-7 家電

(1) 電圧

220ボルト(V)、50ヘルツ(Hz)

(2) コンセント、モジュージャックの形

3つ穴。丸ピン2つのCタイプが使用可。

(3) 家電製品

日本の電化製品(パソコンを除く)には変圧器が必要。

1-8 家具保険

該当情報なし。

1-9 その他

賃貸契約は、一般に1年契約、1年更新のオプション付き(1年の契約期間が満了した時、1年の契約更新または解約のいずれかを選択できる)で行なわれ

る。契約更新を希望する場合は、少なくとも契約期間満了の30日前にはその旨家主に通告し、家賃の交渉に入る必要がある。その際、状況にもよるが、若干の家賃値上げが行なわれることが多い。

また、契約書には、日本からの帰国命令があった際は、いつでも解約できる一項を入れることが必要である。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

ウルグアイには日本と同様、四季があるので夏物、冬物、合着の衣料が必要である。衣料品は豊富である。特に羊毛製品は、ウルグアイの主要産物だけあって安く買える。

注意しなければならないのは、平均的にウルグアイ人は日本人に比較して腕が長いので、既製品は日本人にとって袖が長すぎることである。買う時に自分の寸法に合わせてもらう必要がある。ニット品は自分の寸法に合わせて切断することができないので、適当にまくって着ることになる。

仕立品は体に合わせて丹念に仕立ててくれるので問題はない。例えば、仕立品の三つ揃いの背広は1着 400ドル程度で純毛のものが手に入る。下着、ワイシャツ類は手に入るが、サイズが日本のように多くないので、特に小柄な人は体に合わないことがある。

主なショッピングセンターおよび商店は、次のとおりである。

- ・Montevideo Shopping Center、
Punta Carretas Shopping、
Portones Shopping :モンテビデオ市内の有名商店が1ヵ所に集中し、スーパー的特色を有している。
- ・Manos del Uruguay :セーターなどの手編み製品が主である。
- ・Tiendas Montevideo :毛布、布地などの販売店で、市内に数店支店がある。
- ・La Opera S.A. :高級婦人服および布地販売店で、輸入製品が多い。
- ・Supermercado Tienda Inglesa :スーパーマーケットで、市内に数店ある。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

冬物、夏物、合着の日常着用する洋服は最小限、下着類は十分日本から持参した方がよい。このほかに、礼装用として濃紺または黒の三つ揃いの背広 1着と、仕事に作業服のいる人は数着持ってくる必要がある。

女性は、必要ならば和服を 1着持ってくれば十分であり、是非なければならないというほどでもない。モンテビデオは夏でも朝晩は気温が下がるので、セーターはぜひとも必要である。また、冬は風が強く気温のわりに寒く感じるので、慣れれば合着のオーバーで冬を過ごせるが、日本からきた当初はかぜをひきやすいので、人によっては冬のオーバーも持ってくる必要もある。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

オーバー、ジャンパー、手袋、靴などの革の衣料は豊富にある。

(4) その他の留意点

大人・子供用下着や靴下なども当地で入手できるが、品質などを考えれば日本から持参することをすすめる。また、年輩の人は、すべてこやももひきを持参するとよい。

2-2 礼装

(1) パーティー

普通カウンターパートとのパーティーには、特別の服装は必要ないが、公式のパーティーには男性はスーツ、女性はフォーマルなワンピースを着用する。場合によっては和服が望ましいこともある。

(2) 式典

公式式典としては、大使公邸への邦人招待(天皇誕生日など)などもあるので、ひとつおりの礼装は日本から持参するなり、現地で調達する必要がある。

(3) 冠婚葬祭

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

アパートまたは一軒家を借りた場合、契約の時、電気洗濯機をつけるようにすれば便利である。また、洗濯物をクリーニングに出す場合は、ワイシャツなどの水洗いを行なう店(ラバンデリア)と背広などドライクリーニングを行なう店(ティントレリア)があり、その両方を行なうところもある。自宅で洗濯する場合、外から目立つところに干さないよう注意する。

革や毛皮のオーバーなどの洗濯は、ドライクリーニング(ティントレリア)に出すとよい。

(2) 仕立て、修繕

モンテビデオの仕立ては非常に丁寧で、普通 3回は手直しが行われる。生地も国産品でよいものがあるうえに、高級品では輸入品もあるので、現地で洋服、オーバーなどを購入するのもひとつの方法である。

(3) 保管

該当情報なし。

2-4 美容院、理髪店

< 美容院 >

市内のいたるところにあり、程度もピンからキリまである。高級なものは設備も

よく、清潔である。料金はパーマ50ドル、カット15ドル、マニキュア5ドル程度。

<理髪店>

床屋の数はそれほど多くはない。ウルグアイ人は日本人ほど散髪の回数が多い。床屋もピンからキリまであり、普通のもので料金は洗髪を除き、5～8ドル相当である。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

レストラン、喫茶店、バーなど、ウェイターが対応してくれるところは5～10%のチップが必要。

(2) 各種サービスに対するチップ

空港、ホテルで荷物を運んでもらったときなどは1～2ドル必要。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

モンテビデオには一般料理店、焼き肉専門店、魚料理専門店、フランス料理店、ドイツ料理店、中華料理店、スペイン料理店、アルメニア料理店、イタリア料理店並びに自然食品店がある。日本料理店も最近できた。主要レストランは、次のとおりである。寿司をメニューに入れているレストランが最近増えつつある。

チップは支払い金額によるが、5～10%程度である。

(2) 飲食店

<一般国際料理>

・Da Pentella (イタリア料理)

住所 : Luis de la Torre 598

電話 : 2712-0981

・La Perdiz

住所 : Guipúzcoa 350

電話 : 2711-8963

・La Casa Violeta

住所 : Rambla Armenia 3663

電話 : 2628-7626

・La Silenciosa

住所 : Ituzaingo 1426

電話 : 2915-9409

・Tandory

住所 : Massini esq.Libertad

電話 : 2709-6616

- ・Spagetteria 23 (イタリア料理)
 - 住所 : Dr. Jose Scoceria 2584
 - 電話 : 2711-4986
- ・Canton Chino (中華料理)
 - 住所 : 8 de Octubre 2615
 - 電話 : 2487-2343
- ・Francis (魚料理)
 - 住所 : Jose Maria Montero 2751
 - 電話 : 2711-8603
- ・Castillo Pitamiglio
 - 住所 : Francisco Vidal 638
 - 電話 : 2711-9728
- ・Panini's
 - 住所 : 26 de Marzo
 - 電話 : 2622-1232
- ・Sumi (日本料理)
 - 住所 : Patria 699
 - 電話 : 2710-7913
- ・Kokoro (日本料理)
 - 住所 : Libertad 592
 - 電話 : 2706-9140
- ・Itamae (日本料理)
 - 住所 : Miñones 452
 - 電話 : 2710-5819
- <カフェ・レストラン>
- ・Sacramento Open Bar
 - 住所 : Luis de la Torre 600
 - 電話 : 2710-0245
- ・Che Montevideo
 - 住所 : Rambla Gandhi 630
 - 電話 : 2710-6941
- ・EL Viejo y el Mar
 - 住所 : Rambla Gandhi 400
 - 電話 : 2710-5704
- ・Café Misterio
 - 住所 : Costa Rica 1700 esquina Rivera
 - 電話 : 2600-5999
- ・62 Bar
 - 住所 : Miguel Barreiro 3301

電話 : 2707-3022

< 肉料理 >

・El Fogon

住所 : San Jose 1080 / Punta Carretas Shopping 3階

電話 : 2900-0900/2711-6801

・El Palenque

住所 : Perez Castellano 1579

電話 : 2917-0190

・La Vaca

住所 : 26 de Marzo 3572

電話 : 2622-5077

・Don Trigo

住所 : J.Requena y Garcia s/n

電話 : 2711-5952

・El Abasto

住所 : Peatonal Bacacay 1309

電話 : 2916-9026

(注) 2011年8月の調査による。

< その他の飲食店 >

市のいたるところにバーやレストランがあって、夜は8時ごろから営業を開始し、12時半ごろまで営業している。

4-2 食料

(1) 一般事情

コーヒー、バナナ、パイナップルなどの熱帯産品のほか、米、麦、トウモロコシなどの穀物、トマト、キャベツ、レタス、タマネギ、じゃがいも、きゅうりなどの野菜、リンゴ、ミカン、モモ、ナシ、ブドウ、イチゴなどの果物、牛肉、豚肉、鶏肉、それにバター、チーズなどの畜産品は豊富である。サーモン、ヒラメ、マグロ(時々)しかない。貝類はない。

モンテビデオには寿司を出しているレストランが少しある。中華料理店は3軒ぐらいあり、自然食品店もある。かつての文化国家であるため、衛生観念は一般的に普及しているものの、食品の衛生管理には最善の注意が必要である。

(2) 主な食品の出回り状況

< 米 >

当国の主要産品のひとつで、その一部は輸出されており、種類も多く豊富である。市内のスーパーマーケットや食料品店で常時自由に入手できるが、日本人の口にいちばん合うのは、弥勒米(みろくまい)で、すしにも使用できる。

< パン >

スーパーマーケットや菓子屋に様々なパンが売られており、安く入手できる。

< 野菜 >

野菜は、トマト、きゅうり、ナス、にんじん、ほうれんそう、かぼちゃ、カブ、キャベツ、レタス、じゃがいも、さつまいも、さやいんげん、白菜、もやしなど、ひとつおりのものはだいたいある。大根はたまにしか市場にはみられない。

< 果物 >

リンゴ、ミカン、モモ、メロン、レモン、ブドウ、ナシ、バナナ、パイナップルなどは、多量に販売されている。値段はその年の天候により左右される。

< 肉類 >

牛肉は日本のものに比べ脂肪が少なく硬い。日本のような霜降り肉はない。ロモ、ヒレ肉の部分を買えばやわらかくて食べやすい。鶏肉は丸 1羽(内臓などは除去されている)、または胸、もも、内臓に分け売られている。豚肉は牛肉、鶏肉に比べて少ないが、いつでも入手でき、主に骨付き肉(Costilla de Cerdo)が売られている。このほかに羊、七面鳥、ウサギなどの肉もある。鶏卵も豊富である。ウズラ卵も購入できる。すべてスーパーマーケットや肉屋で買うことができる。豚肉は場所にもよるが、フェリア(Feria : 定期市)に出店してくる移動販売車の方がよいものを売っているが、衛生に注意が必要。価格は、1キログラム当たり、牛肉のヒレ肉が約 8 ~ 10ドル相当額、鶏肉が約 4ドル相当額、豚肉が約5ドル相当額、鶏卵が 1ダース約1.5ドル相当額である。

< 乳類 >

牛乳、チーズ、バター、ヨーグルトなどが豊富に生産されており、品質もよく、価格も安い。特にコナブローレ社などの製品がスーパーマーケットや食料品店で販売されている。品質管理もある程度の水準だが、牛乳などは賞味期限ぎりぎりの品物がスーパーマーケットで売られているようなこともあり、注意を払うことが肝要である。輸入品もあるが価格が高く、特別の品以外は国産品で十分である。

< 魚類 >

魚はマグロ、エビ、ヒラメなどがあるが、タコ、イワシなどは輸入品が主である。鮮度は、ときによりよかったり、悪かったりするので、よく注意して買う必要がある。味は日本のものに比べ、大味である。価格は、肉類と比較すると高い。また、タコやエビなどの輸入品は、この国では非常に高い。貝は魚に比べると種類も少なく、イガイ、オオノガイ、トリガイがある。魚介類はスーパーマーケットやプセオ海岸にある魚屋で入手できる。

< 調味料 >

調味料のうち、しょうゆはスーパーマーケットでアルゼンチンからの輸入品、ウルグアイで生産されたものが売られている。在留邦人のなかには、みそをつくっている人もいるので、頼めば分けてもらえる。

< 食用油 >

コーン油、オリーブ油などの食用油は国産、輸入品ともに豊富にスーパーマーケットで売られており、嗜好により自由に選ぶことができる。

<酒類・飲料水>

ビールは国産のものが3種類ある。缶入りのものは主に輸入品で値段も高く、あまり飲まれていない。ウイスキーおよびブランデーは国産のものもあり、値段も安い。日本酒は市場では販売されていない。ワインは国産品も輸入品も豊富に売られており、輸入品は国産品に比べて非常に高い。国産品の味もかなりよい。

水道水は良質でそのまま飲んでも問題はないが、カルシウム分が多いので、ミネラルウォーターを飲む方が安全である。ミネラルウォーターは数社の製品が販売されており、ガス入りのものとそうでないものと2種類ある。地方の井戸水はカルシウム分が強く、飲むと下痢を起こすので注意する。

<日本食>

日本料理に必要な材料の大部分が、モンテビデオで購入することはむずかしい。特に、お茶、こんにゃく(粉)、七味とうがらし、わさびなどについては現地では入手が難しいので、日本から赴任時に持参するか、日本の家族に頼んで航空郵便小包で送ってもらうことになる。

豆腐は、日系・中国系の人が製造して訪問販売をしているので、頼んでおけば週に1度届けてもらえる。

また限られた種類だが、日系人のなかに日本食料品を訪問販売する人がいるので、問い合わせるようになると便利である。(かまぼこ類、みそ、しょうゆ、豆腐、納豆、米、こんにゃくなどのほか、大根、白菜、きのこなど時季もの野菜など)。時々ではあるが、中華食材店でみりん、のり、味の素、ゴマ油が手に入る。

(3)食料の入手

魚や日本食料品を除く食料は、スーパーマーケット、定期市、八百屋が各地区にあるので、容易に買うことができる。

魚はプセオ海岸に魚屋が数軒並んでいる。

4-3 食器、調理器具

(1)食器、調理器具などの入手

西洋料理用の鍋、包丁などの調理器具並びにナイフ、フォーク、スプーン、皿、コップなどの食器はスーパーマーケットや専門店で容易に入手でき、価格も高級品を除けば比較的安く買うことができる。

日本料理用の調理器具として現地で入手できないものは、魚を料理する包丁と石、ピーラーくらいで、ほとんどのものは入手可能である。日本料理用の食器として入手できないものは、みそ汁用のおわん、ご飯茶わん、茶器類およびはしくらいである。しかし、中国製の食器が比較的多く輸入されているので、これで代用できるものもある。一般に、アパートを借りる場合には食器、調理器具はついているのが普通である。

(2)日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

みそ汁用のおわん、ご飯茶わん、茶器およびはしなどは、必要に応じ日本から持参したほうがよい。すきやき用、または鉄板焼き用に使用可能な電気鍋を現

地で入手できるが、これらも荷物に余裕があれば220Vを踏まえて持参すると便利であろう。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

該当情報なし。

5-2 家具

該当情報なし。

5-3 日用品、雑貨

該当情報なし。

5-4 工具、素材

該当情報なし。

6. 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

ウルグアイ共和国銀行(BROU)/ITAU/SANTANDER/CITY BANKなどがある。

(2) 口座の開設と閉鎖

小切手の換金に要する期間を考慮し、口座の閉鎖は、帰国後1ヶ月以上経ってからとする必要がある。

(3) 小切手

該当情報なし。

(4) 換金方法

該当情報なし。

6-2 クレジットカード

VISA/MASTER/DINNERS などのカードは大型スーパーマーケット、ホテル、レストランなどで使用できる。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

国内交通機関については、鉄道はおもに貨物輸送。長距離バス網が発達し、国内はもとよりアルゼンチン、ブラジル、パラグアイまで多くのバス会社が運行している。

モンテビデオ市内の交通機関は、タクシーがかなり多く、退社時間帯を除けば比較的容易に利用できる。

特に市の中心部は車の数が多く駐車も容易でないので、自家用車よりはタクシーまたはバスを使う方が便利である。タクシー、バスともに料金は日本に比べると経済的である。

(2) 空港から市内への移動

空港タクシーで約30分。

(3) 自家用車を利用する場合

自家用車を利用する場合、常時携行を要する書類は次のとおりである。

【免許証、身分証明書またはパスポート、車両登録税納入領収証、(ウルグアイ自動車クラブ会員証保険加入証と保険料支払い領収証車両登録証)】。

市の中心部を除くと交通量は多くはないが、交通法規を尊重しない人もかなりいるし、トラック、タクシーの運転は相当乱暴であるので注意しなければならない。道路事情についてよく調べ、十分な知識を得ることが必要である。

(4) レンタカーなどを利用する場合

該当情報なし。

(5) 地図

Papacitoや Moscaなどの本屋やキオスクで売っている。ガソリンスタンドにある場合もある。大きい本屋さんには、モンテビデオバス運行について書かれているガイドブック(Guía de Montevideo Eureka)がある。バス番号、ルート、始発・最終便も書いてあり、便利である。

(6) その他

< タクシー >

・Radio Taxi Montevideo

電話 :1711

・Radio Taxi

電話 :141

・Taxi Punta Gorda

電話 :1771

・Taxi Radio Celeritas

電話 :1919

モンテビデオのタクシーは車体が黒、屋根が黄で、TAXIと書いてある。会社へ電話をかけると、指定の場所まで迎えに来てくれる。もちろん、路上でTAXIを止めることも出来る。車に乗って行き先をはっきりと告げること。料金はメーター制(ペソ支払い)。目的地に着くと、運転手は料金表を取り出し、メーターの数字と合わせて支払うべき運賃を示す。チップの必要はないが、習慣として例えば46ペソであれば50ペソを渡す。トランクに大きい荷物を入れる場合、一個は無料、2個以上になると一つにつき10ペソ払わなければならないときがある。料金表は、昼間時間(6時から22時)と夜間(22時~6時)の2種類あり、夜間(22時~6時)

は料金が20%上がる。日曜日と祭日は夜間の料金を使用する。

<ハイヤー(レミス)>

・Remises de las Carretas

電話 :2711-6983/2711-6984

・Remises Obelisco

電話 :2400-0835/2408-4129

5人乗り乗用車モンテビデオ市内 :1時間/350ペソ(9人、15人用等有り)

<バス>

モンテビデオ市内バス停は300m位おきにある。各バス停には通過するバス番号が表示してあるので、バスに乗る場合には必ず手を上げ、バスを止めること。バスには前から乗り、運賃は乗ってすぐ払い(市内18ペソ)、降りる時は運転手か車掌(GUARDA)、又は後ろのドアの上にあるボタンを押して知らせる。

7-2 交通事故、盗難

(1)対処方法

人身事故の場合は刑事事件として警察が扱い、現場検証、取調べを行なう。人身事故でない場合は、民事問題として警察は介入しないが、当事者双方が最寄りの警察署に出頭し、調書を作成のうえ、それに署名しなければならない。その際、相手方の氏名、住所、ナンバー、身分証明書番号、保険加入証番号を必ず記録しておくことが肝要である。

保険の求償手続日数は事故内容により異なるが、盗難は24時間以内、人災事故は即時、通常事故(衝突など)は5日以内(土・日曜日、祭日を除く)に行なわなければ権利を失う。同手続は書式の記入、損害の査定など非常に煩雑であるので、保険仲介業者に委託(無料)すれば、保険金の受取りまで世話をしてくれるので便利である。保険金は原則として事故を起こした車の保険から支払われるため、もし相手方が保険に加入していない場合や、主に自分が事故の原因となった場合には保険金は支払われないので、これを避けるためには全面損害保険に加入しておく必要がある。故障時の救済サービス会社が数社あり、会員となっておけば、応急修理並びに希望する修理工場への車の運搬してくれる。

・Automovil Club del Uruguay

電話 :2901-9020 / 2902-1654

・Car Up

電話 :2628-1555

(2)救急病院

国の救急病院としては、スペイン病院(La Española 1920-5050)、英国病院(Hospital Britanico 2487-1020)エバンヘリコ病院(Hospital Evangelico 2487-2319)ある。このほかに私立病院でも24時間態勢で応急手当てを受けることができる。病院への搬送には厚生省の緊急サービスもあるが、民間の会員

制システムも有料で救急車サービスを行なっている。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

ラジオ、タイヤ、ステレオなどのほかに、車そのものの盗難が起こることがある。

その場合、すぐに警察に届け出を行なうとともに、保険の求償手続を24時間以内に行なわないと権利を失うことになる。特に車内にバッグなどを置いておくとうガラスを壊され盗まれることもあるので、車内には何もおかないように注意する。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

免許証取得の際、交通法規の試験があるが、特に留意すべき点は次のとおりである。

- ・車は右側通行
- ・標識のない十字路における右方車優先
- ・横断歩道表示および学童横断表示での人の絶対優先(必ず徐行のこと)
- ・追い越しは左側
- ・上り坂、カーブ、架橋での追い越し禁止

交通法規を遵守しない人もいるので、十分注意を払うことが肝要である。交通違反で警官に捕まった場合、違反の時点で免許証ないしは車両登録証を没収され、罰金の支払いと引き換えにこれが返還される。このほか、車両登録税納入の際、一括して罰金を徴収される場合もある。

(2) 罰金、罰則

交通違反に際し、警官が金銭を要求することはまずない。警官の感情を害さないように、その指示に従って行動すれば、寛容な処置がとられる場合もある。

7-4 車の修理

(1) 部品

部品の入手は一般に問題はないが、日本車の場合、一部の部品の在庫がなく、日本からとり寄せなければならない場合もある。特にオートマチック車は台数もきわめて少なく、問題が起きた場合、修理に時間がかかる可能性がある。

(2) 修理工場

各自動車の製造会社は指定の修理工場を持っているので、これを利用するのがいちばん安全である。このほかに一般の自動車修理工場は市内に数多くある。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

<モンテビデオ市内電話>

公衆電話にはANTELと書いてあり、グレーや青い色の電話機がある。受話器

を上げ、4ペソ分の硬貨を投入口に入れて、先方の番号をダイヤルする。市内通話は4ペソで201秒間話せる。釣銭は戻らない。コイン電話機から携帯電話にかけることもできるが、はじめに9ペソかかる。

< 市内・市外 >

テレフォンカードは電話局、ガソリンスタンド、ショッピングセンターなどで買うことができる。種類は、25、50、100、200ペソがある。テレフォンカード電話機からは携帯電話にかけることもできる。

(2) 国内電話

(他県へかける場合)市外局番+電話番号

(3) 国際電話

プリペイドカードは国内・国際通話ができる。25・30・60・100・200と500ペソのカードがあり、ANTELオフィス、スーパーマーケットで販売されている。日本への国際電話のかけ方は、00+81(日本の国番号)+3(東京の場合 :市外局番から0を取ったもの)+○○○○-○○○○(相手方の番号)。

(4) 携帯電話

ANCEL/MOVISTAR/CLARO などが携帯電話サービスを提供している。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

ANTEL(電話会社)がファクシミリサービスを提供している。

(2) テレックス

発信には電信電話公社(ANTEL)が利用されている。発信にはそれほど待たされることはない。また各ホテルはテレックスやファックスを持っているので、自由に受信、発信ができる。これを利用するのほひとつの方法である。

(3) 電報

該当情報なし。

(4) インターネット

サイバーカフェはたくさんあるが、日本語での入力できない。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便事情は、国際航空郵便で東京からモンテビデオに発送する場合、約1週間から10日ぐらいかかる。船便の場合は3ヵ月以上かかることもある。そのうえ郵便物が届かないことがある。モンテビデオから東京に発送する場合は、普通約2週間、遅くとも特別の例を除くと約4週間である。船便の場合、3ヵ月くらいはかかる。日本との間で重要で急を要するものは、国際宅配便を利用するのがよい。日本まで4日ぐらいで届く。日本からの小包は内容により、中央郵便局で受け取る場合と、税関まで行かなければならない場合とがあるが、小型包装物で2キログラムまでは郵便局で受け取れる。薬局でも郵便を受け取ることもある。

・街角のCorreo

営業時間 : 9:00 ~ 18:00

・モンテビデオショッピング郵便局

営業時間 : 10:00 ~ 22:00

小包等は、Ciudad ViejaのCorreo Central(住所 : Misiones y Buenos Aires)、他の小包取扱郵便局へ持っていく。

(2) 課税

課税対象郵便物については、税関まで出頭しなければならない。係官は荷物を開け品物の確認をし、税率を決める。税率は非常に高いのが普通であるが、物品などを要求されたり、内容物が紛失したりすることはまずない。場合によって通関業者の手配が必要である。

(3) 国際宅配サービス

DHL/FEDEX などがある。

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

パソコンハードについては現地調達可能。

(2) 使用の際の注意

該当情報なし。

(3) 修理

該当情報なし。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

9:00 ~ 17:00

(2) 有給休暇

1年勤続後、次年度から20日/年の年次有給休暇制度がある。

(3) 執務室

該当情報なし。

(4) 通勤事情

該当情報なし。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

空港の建物1階が出国、2階が入国、各航空会社のカウンターは1階の出国の建物にある。

(2) 入国手続き書類

入国に必要な入国カードは、飛行機が空港に着く少し前に機内で配られ、これに記入するだけでよい。税関申告書もある。

(3) 入国審査

入国審査ではパスポートと入国カードを係官に提出し、パスポートに入国スタンプをもらうだけで済ませて機械的に処理され、入国の目的などを尋ねられることはまれである。

(4) 税関検査

他国と同様の税関検査が行われている。

(5) 空港内での留意点

特に注意する点はないが、空港には軍の施設もあるので、施設に向けての写真などの撮影は控えた方が無難である。

(6) 出迎え

該当情報なし

(7) 空港からの主な交通手段

空港タクシー。

(8) その他の留意点

該当情報なし。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

空港の2階が出国の建物で、各航空会社のカウンターがあり、チェックインをすると出国カードを渡されるのでこれに記入し、パスポートとともに出国管理官に提出し、パスポートに出国スタンプを押してもらうことになる。

(2) リコンファーム

該当情報なし。

(3) チェックイン

国際線は通常2時間前、国内線は1時間前にチェックインする必要がある。ただし、アメリカン・エアラインの場合は、手続きに時間がかかる場合があるので、3時間前にチェックインする必要がある。

(4) 空港利用税

空港利用税は、チケットに含まれている。

(5) 出国手続き上の留意点

該当情報なし。

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

大使館領事部に帰国する旨を連絡する必要がある。

(2)車の処分

売却の方法としては、車の専門業者に売るか、直接買い手を見つけて売るのがどちらかになる。したがって、数ヵ月前からまずカウンターパートや知人に頼んで買い手を見つけてもらう努力をし、みつからない場合は専門業者に売らざるを得ない。

(3)家財道具の処分

該当情報なし。

(4)住宅の明け渡し

契約満了時/帰国時の住宅の明け渡しに先立ち、少なくとも30日前までには家主に住宅を明け渡す旨通告しなければならない。家賃は前払いであるので問題はないが、電気、電話、水道などは、1~2ヵ月遅れて請求書がくるため、退去前に不動産屋または大家と精算の手続きをする必要がある。

住宅、家具、什器などに与えた損害を弁償することになるが、損害の有無にかかわらず、家主より「物件を満足な状態で受領し請求するものは何もない」旨の一筆をとっておくことも、後のトラブルを避けるうえで肝要である。

(5)外貨持ち出し規制

該当情報なし。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1)一般事情

該当情報なし。

(2)対処法

該当情報なし。

12-2 強盗、盗難

(1)一般的治安状況

安定している。(2011年10月現在)

(2)住宅の防犯対策

24時間警備員常駐のアパートをなるべく選ぶ。

その他、アラームサービス契約もできる。

(3)市中での防犯対策

夜間の一人歩きを避け、人ごみでのスリ、ひったくりに気をつける。

(4)注意すべき場所、危険地域

旧市街/定期市などでの人ごみ。スラム地区やマルコーニ地区など危険地区と指定された地域

(5)被害時の心得

・警察・消防・緊急連絡 : 局番無し 911で、連絡可能である。

・日本大使館 : 電話: 2418-7645(9時~17時)、FAX : 2418-7980

・時間外緊急時 : 094-23-22-23

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

該当情報なし。

(2) 防災対策

該当情報なし。

(3) 被災時の心得

該当情報なし。

12-4 緊急連絡先電話番号

日本大使館 : 2418-7645/094-23-22-23

警察/消防 : 911

救急車 : SEMM 159

UCM 147

13. 社交



13-1 風俗習慣

該当情報なし。

13-2 パーティーでの留意点

該当情報なし。

13-3 来客時の留意点

該当情報なし。

13-4 訪問時の留意点

該当情報なし。

13-5 禁止されている言動(タブー)

ウルグアイ人の性格は一般に穏健であるが、特に知識人は気位が高いので、相手の自尊心を傷つけないよう言動に注意する必要がある。

13-6 日本人会

ウルグアイ日本人会があり、付属日本語学校を運営している。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

2011年現在、1300人以上の研修員OB/OGがいる。帰国研修員同窓会も活動している。

13-8 現地の人々との交流

該当情報なし。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

ウルグアイの教育制度は小学校 6年、中学校前期 3年、後期 3年で、前期は一般教養家庭、後期は文科と理科に分かれる。大学は 5～6年で、共和国大学が唯一の国立大学であり、法、経、工、農、獣医、文理、医、歯、化学、建築などの学部を有する総合大学である。教授陣も充実しており、南米では有数の大学のひとつといわれる。しかし、研究設備などは近代化が大幅に遅れている模様である。教育課程の内容に、フランスの制度がとり入れられている。入学試験はないが、落第制度が適用され、いちども落第せずに大学を卒業する人はごくわずかである。教育は無料が原則で、公立学校に関する限り、教材費、授業料とも無料であるが、参考書は各自の負担である。このほかに 3～5年の国立の職業大学(職業訓練学校)がひとつある。

私立の学校としては、文科系のみのカトリック系大学がひとつある。幼稚園、小学校、中学校については、アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、スペインなどの外国系やカトリック系のものがあり、スペイン語による正規の課程と併行して、英語、フランス語、イタリア語などによる課程を履修しうようになっている。またこのほかに、アメリカ、イギリス、フランス、イタリア、オランダ、ドイツなどの文化協会でそれぞれの言葉を教えるコースがある。

< 家庭学習 >

スペイン語、英語、フランス語、ドイツ語などの家庭教師を容易に探すことができる。日本人子弟の学業の補習を行なう日本人家庭教師はいないが、スペイン語、英語などの外国語による外国人家庭教師を探すことは容易である。

< 通信教育 >

公的には日本からの通信教育を受けることは行なわれていないが、私的に日本の教育機関の通信教育指導を受けることは可能である。例えば、日本を出発する前に海外子女教育振興財団に相談するのもひとつの方法である。

・海外子女教育振興財団(ホームページ : <http://www.joes.or.jp>)

< 東京 >

住所 : 〒105-0002東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

電話 : 03-4330-1341(代表)

FAX : 03-4330-1355

< 関西 >

住所 : 〒530-0001大阪市北区梅田 3-4-5毎日新聞ビル3階

電話 : 06-6344-4318

FAX : 06-6344-4328

< 携行した方がよい家庭用学習教材 >

子弟の日本での進学を目的とする家庭用学習教材は、現地では入手できないので、日本から持参するか、とり寄せるより方法はない。英語、スペイン語などの辞書、参考書類はぜひ日本から持参すべきである。

(2) 日本人学校

ウルグアイには全日制日本人学校はもちろん、補習校も開設されておらず、日本人会が日系子女のため日本語学校を開設し、週2回、日本語や日本文化の授業を行なっている。また、同校は現地のウルグアイ人に対しても日本語講座を開いている。

(3) 現地校、外国人学校

< 公立校 >

公立の小・中学校は各地区にあるが、学校の建物、施設は不備なものが多く、午前と午後に分け2部授業が行なわれている。

公立校については、当国の住民は外国人の子弟であっても、入学適齢期に達すれば入学資格が生じる。また、小学校までの日本の修業証明書があれば同学年に無試験で編入学できるが、成績不良の生徒に対しては、初等教育でも厳しい留年制度がとられている。また中学校以上は、本邦の履修科目の認定手続を行ない、不足の科目を履修しなければ入学または進学することができない。入学資格については以上のとおりであるが、現実には語学力の関係上、公立校への途中編入は日本人子女の場合、きわめて困難な状況にある。

< 私立校 >

現地の人対象の私立校には宗教団体系のものが多く、公立校に比べると建物、施設は整備されており、授業内容も充実しているので、裕福な家庭の子弟が主に通学している。

また、私立校もほぼ公立校と同様の入学資格が要求されるうえに語学力の問題もあり、やはり日本人子女にとってはきわめて困難な状況は免れない。

< 外国人学校 >

日本人子女にとっての主な外国人学校としては、アメリカンスクールとブリティッシュスクールがあるが、ほとんどの日本人子女はアメリカンスクールに通学している。これは幼稚園、初等科(1～6年)、中等科(7～12年)が同一建物内にあり、アメリカの教育制度をとっている。授業はすべて英語で行なわれるため、英語を理解しない生徒に対しては入学当初集中的に英語教育が行なわれる。

外国人学校の入学資格としては、日本の修業または卒業証明書があれば無試験で編入学ができる。編入に際し、英語能力は問われないが、日本人の場合、1学年ほど落として編入するのが一般的である。

スクールバスは、学校がバス会社と送迎の契約を行なっている。

(4) 幼稚園

各地区に多くの私立幼稚園があり、一部には簡単な英語教育を行なっているところもある。このほかに前述の外国人学校に付属するものがある。

有名な私立幼稚園は、定員の関係で入園するのがむずかしい。月謝は、500～1000ドルである。

両親の方針によって近くの私立幼稚園にするか、外国人学校の幼稚園にするかが決められる。

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

・Biblioteca Nacional

蔵書数 : 約 800,000冊

開館時間帯 : 8:15～20:00 (月～金曜日)

ほかに、大学各部の図書室、アメリカ、イギリス、フランス、イタリアなどの各文化協会の図書室がある。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

ウルグアイにおいて、一般家庭で運転手を雇っているところはないといつてよい。自動車は自分で運転するのが原則である。庭師も一般家庭では必要に応じて依頼するか、契約により仕事をしてもらうのが一般的である。

メイド希望者は多く、雇うのは容易であるが、紹介所から回ってくるメイドはあまり良いという評判は聞かない。個人的な紹介か、帰国する専門家などが雇っていた信頼のおけるメイドを雇うことをお勧めする。掃除のみを依頼した場合、1ヶ月約300ドル程度である。雇用するときは、社会保険、労災など十分に注意しなくてはならない。

15-2 運転手

(1) 雇用

前述のように、一般家庭で運転手を雇用するようなことはまずない。

(2) 日常管理

該当情報なし。

(3) 教育指導

該当情報なし。

(4) その他の留意点

該当情報なし。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

ウルグアイでは、家庭全般の仕事をするメイド(empleado domestica)と掃除だけをする掃除婦(limpiadora)が一般的である。家庭の事情により、メイドまたは掃除婦を雇っている家庭が多い。例えば、若夫婦で共働きで子供のある家庭

はメイド、老夫婦で主人が外に働きに行き、夫人が家庭の仕事をし、住居が大きい場合、掃除婦を雇うことが多い。ほかの中南米諸国と異なり、彼女たちのほとんどが小学校程度は卒業している。

(2) 雇用

雇い入れは知人やカウンターパートの紹介による方法と、紹介所による方法とがある。紹介所としては、次のものがある。

・Agencia de Colocaciones Manolo

電話 : 2408-3631 ~ 2

経験年数も多く、親切である。

住込み、通勤のいずれかは希望により交渉する。雇用手続は、特に書面による雇用契約の必要はない。トラブルを避けるために勤務時間、仕事の範囲(料理、洗濯を含むか否か)を事前に明確にしておくことが肝要であるが、料理のできる

メイドは少ない。祝祭日は原則として休暇を与えるのが普通で、働いてもらう場合は日給を倍払うことになる。

家事労働者の場合でも、月給の約10%を雇用者負担分として毎月、社会保障銀行に納入しなければならない。また、6月と12月には、それぞれ半月分のボーナスを支払う決まりである。退職金は勤続3ヵ月以下の場合には不要であるが、それ以上になると勤続1年またはその端数につき1ヵ月の給与相当額(ただし最高6ヵ月分まで)を支給するのが一般的である。また、年に20日の有給休暇を与える。これに相当する日給額を支払うことになっている。

ベビーシッターは当方の条件を提示し、交渉することもできる。勤務条件や報酬はメイドと同様である。

(3) 日常管理

該当情報なし。

15-4 庭師、ガードマン

該当情報なし。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

主な日刊紙の朝刊は、「El Pais」、「El Observador」、「La Republica」、夕刊として主なものは、「Ultimas Noticias」である。このほかに週刊経済誌として、「Cronicas Economicas」がある。

(2) 日本の日刊紙

主要本邦日刊紙は、OCSにより1週間程度遅れのものが入手できる。価格は1ヵ月300ドル程度である。

(3) 欧米紙 / 誌

「The New York Times」、「London Times」などの欧米紙は市内で販売されて

おらず、直接発行先と契約して送ってもらうことになる。しかし、ときどき目を通すにはアメリカ文化協会、イギリス文化協会の図書室に行けば読むことができる。

(4) 日本の雑誌、書籍

該当情報なし。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

ラジオはモンテビデオに35局(23AM, 12FM)、地方都市に125局の合計 160局あるが、テレビの普及により番組の内容もスポーツ実況、音楽、商品の宣伝などに傾いている。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

日本からの直接放送のほかに、南米フランス領ギアナのモンシネリ送信所を経由する南米向け放送がある。(アルゼンチンの場合であるがウルグアイも同様と思われるため掲載)

NHKワールド・ラジオ日本の南米向け放送を受信できる。周波数は、3月末と10月末に変更するので、周波数表を入手のうえ、確認すること。

< NHKワールド・ラジオ日本問い合わせ先 >

・NHK国際放送局企画編成部

所在地 : 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話 : 海外から : +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10:00 ~ 19:00)

日本国内から : 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24時間受付)

E-mail : nhkworld@nhk.jp

< 周波数表、番組表の入手 >

・URL : <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/index-j.html> (周波数表、番組表確認)

・FAX : +81-3-5454-0888 情報番号260 (日本語放送の周波数表・番組表 FAX サービス)

・郵送 : 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

VOA、BBC、中南米各国の放送も受信できるので、短波放送を受信できる専用ラジオを持参することをすすめる。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

テレビ放送局はモンテビデオに 4局(うち国営 1局)、放送時間は国営が7:00から、それぞれ深夜までとなっている。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビ

ケーブルテレビ局も開局しており、Direct TVでNHKインターナショナルが見られる。Montevideo Shopping Center、又は、Punta Carretas ShoppingにあるBarraca Europa支店で接続手配をしてくれる。

Tel. 2623-2850/2711-0900 接続費：約100ドル、受信料は毎月約55ドルである。

(3) テレビ受信

ウルグアイのテレビはPAL-N方式であるので、日本から持参する場合はこの方式か、あるいは全方式対応(輸出仕様)のテレビを購入した方がよい。また、NTSC方式のものを持ってきても現地で改造は可能である。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

・タオナ・ゴルフクラブ：空港から近く簡単に会員になれ、日本人会員もいる。

ウルグアイ人のゴルフ人口は多くなく、現在のところ外国人が比較的多い。ゴルフ道具も中古を現地で購入可能であるが、日本から持参するほうが賢明である。プレーの費用は安く、そのうえ健康管理上もよいので、日本でゴルフをやっていない人でも現地で始める人も多い。

(2) テニス、フィットネス

モンテビデオ市内にはかなりのスポーツクラブがあり、その一部門としてテニスがある。テニスと同様に、スポーツクラブがその一部門として室内温水プールまたは屋外プールを持っていることがあるので、その会員となる必要がある。

(3) その他のスポーツ

ウルグアイでもっとも盛んなスポーツはサッカーで、その水準は世界的である。レベルの高い国際試合を、しばしばみることができる。市民は野外の広場で盛んにサッカーを楽しんでいる。サッカーの次に盛んなものはバスケットボールである。そのほかラグビー、ホッケー、ボート、ヨットなどのクラブがある。用具やウエアは現地で簡単に入手できる。

17-2 趣味

< 映画・演劇 >

映画館：モンテビデオ市内には映画館が多く、アメリカ、イタリア、フランス、アルゼンチン、ブラジルなどの映画が上映されている。ときどき日本映画も上映されている。主な映画館は、Movicenter, Portones, Casa Blanca, Punta Carretasなどである。また、会員制映画館にはCinematecaがある。会員制映画館は入会金なしで、無料で観賞できる。しかし、テレビやDVDの普及により、映画を楽しむ人の数は近年急激に減少している。

劇場：市の中心部に大小の劇場があり、その代表的なものはTeatro Solis (国立劇場)、Teatro del Centro、Teatro Notariado、Teatro Galpon、Carlos Vaz Ferreira (教育文化省付属劇場) である。

< 出版・書籍 >

一般事情 : 欧米の主要な月刊雑誌、週刊誌は、最近市内で入手できるものも出てきた。専門書の入手は困難で、書店に頼んでとり寄せるため、非常に時間がかかる。日本語の出版物は現地書店では取り扱っていないので、自分でとり寄せるしか方法がない。欧米の一般的な雑誌はアメリカ、イギリス、フランスの各文化協会などの図書室にあるので、これを利用するのがいちばんよい。

書店 : モンテビデオ市内の主な書店は、次のとおりである。

・Mosca Hnos S.A.

住所 : 18 de Julio 1578

電話 : 2409-3141/2401-1111

・Book Shop

住所 : Ellauri 383

電話 : 2711-8035

・Montevideo Shopping

電話 : 2628-3172

< 音楽会、コンサート >

ウルグアイ人は一般に音楽の好きな国民で、アルゼンチンとともにタンゴの国である。そのうえギターによるフォークミュージックを市民はこのうえなく愛好している。オーケストラもあり、ソリス劇場で演奏会が催される。指揮者は国内のみならず、海外から招聘される場合も多々ある。クラシック音楽会の出席者の大多数は中年以上の年配者で、若い人は少ない。ロック演奏会場は若者でいつも満員となる。

< コーラス、演奏グループ >

コーラスグループがあり、ときどきソリス劇場で開催される。演奏グループは、モンテビデオの楽団に所属するものが中心となっている。海外から著名なコーラスグループが来演することある。

< ピアノなど >

ピアノ、バイオリンのリサイタルもときどき開催され、海外の著名な演奏家の演奏を聴く機会もある。

ピアノの購入は可能であるが、値段は高い。しかし中古もあり、値段も手頃である。また個人指導の教師につくことも可能である。

< 手芸 >

ウルグアイの手芸品としては、当国産の毛糸を使ったセーター、壁かけなどの手編み品で、これは外国人にとってお土産品として比較利用されている。市内にはこの手編み技術を教える教室がある。なお、これらの毛糸手編み製品を販売する店として、次のものがある。

・Manos del Uruguay Punta Carretas Shopping

電話 : 2710-6108

・HechoAcA (Montevideo Shopping)

電話 : 2622-6683

< 絵画、美術工芸 >

この国はかつて絵画、美術工芸の分野で著名な人材が輩出したが、現在のところ国際的にみてそのレベルは高いとはいえない。しかし、昔の作品やこの国がかつて景気よかった時代にヨーロッパ各国から評価の高い作品を買ったため、これらが市内の骨董品店に展示されている。骨董に目のある人にはたいへん興味があるようである。

< 娯楽、遊戯、ゲーム >

ウルグアイ人の一般的な楽しみはピクニックで、家族、友人達と浜辺、公園、キャンプ地などでアサド(ウルグアイのバーベキュー)をして 1日を過ごす。賭事はカジノのほかに競馬、宝くじなどが盛んに行なわれている。

< 芸能興行 >

ときどき外国の舞踊団やサーカス団がきて、市内の体育館や広場で上演することがある。

< 園芸 >

庭を持っている家庭は、花や樹木を植えることに非常に熱心で、よく整備されている。アパートに住む家庭は、室内やベランダに観賞用植物の鉢物をおいてあることが多い。

< 釣り >

ウルグアイはラプラタ川、ウルグアイ川、ネグロ川などの河川のほかに、大西洋に面しているため、釣りは非常に盛んである。釣り道具は日本製品、ブラジル製品、アルゼンチン製品が販売されている。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

市内には多くの語学学習施設があり、英語、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語を中心にたいの外国語を勉強することができる。主なものは、次のとおりである。

< 英語 >

・Alianza Cultural Uruguay EE. UU. de America

電話 : 2902-5160/2902-5165

・Instituto Cultural Anglo Uruguayo

電話 : 2902-3773/2600-9263

< ドイツ語 >

・Instituto Goethe

電話 : 2410-5813/2419-3499

< フランス語 >

- ・Alianza Francesa

電話 : 2400-0505

< スペイン語、英語など >

- ・Instituto de Lenguas Extranjeras

電話 : 2710-7826

- ・Instituto de Cultura Uruguay-Brasileño

電話 : 2710-7826

- ・International House

電話 : 2709-6774

- ・Berlitz

電話 : 2403-0121(Bvar.Artigas) 2901-5535 (Plaza Independencia)

(2) 家庭教師

外国語の個人教授を求める場合にはInstituto de Lenguas Extranjerasに相談すれば、スペイン語、英語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語などたいいていの外国語の家庭教師を世話してもらえる。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

< 自動車 >

ウルグアイは人口が都市に集中しているため、非常に過疎地帯が多いので、自家用車で旅行する場合、事前に十分な情報を集め、緻密な計画を立てるとともに、出発前には日頃修理を頼んでいる修理工場で車の点検整備をすることが必要である。

自家用車のほかに、モンテビデオ市内には運転手付きで自動車を貸すハイヤー会社がある。比較的良好に利用されている会社は、次のとおりである。

- ・Remises de las Carretas

電話 : 2711-6983/2711-6984

- ・Obelisco

電話 : 2400-0835/2408-4129

大型乗用車並びにマイクロバスを有しているため、小人数の団体、例えば調査団などに利用される。

< バス >

長距離バス網が非常に発達しているため、モンテビデオから遠い都市への旅行は、バスを利用するのがもっとも経済的かつ安全である。その際、バス会社の運行表、バスの設備、特に夏の旅行には空調の有無などをよく調べることが必要である。

< 鉄道 >

鉄道は客や荷物輸送を行っており、全国内は走っていない。

< 航空機 >

国内航空会社として、現在はモンテビデオからPunta del Este, Salto, Riveraに飛んでいる。

18-2 主要観光地・保養地

モンテビデオからブラジル国境のチュイに至るラプラタ川岸と大西洋岸は、リゾートゾーンがたくさんあり、ウルグアイの重要な観光資源となっている。

その主なものは、次のとおりである。

- ・ Punta del Este :
もっとも大きく、南米でも有数の避暑地として、また1986年のガット開催地として有名である。モンテビデオから東へ 142キロメートル、ちょうどラプラタ川と大西洋との境目にあたる。ここまでくると川の水もきれいになる。広大な松林のなかに高級な別荘やアパートが建ち並び、ホテル、カジノ、レストラン、ゴルフ場などの施設が完備している。
- ・ Piriapolis :
Punta del Esteに次いで大きいリゾートゾーンで、モンテビデオから95キロメートルのところにある。海水温水プールを有する Hotel Argentinaがあり冬でも多くの保養客がある。自然と保養を好む人は、Punta del Esteよりもここを選ぶ。ゴルフ場はないが、ホテル、カジノ、レストランなどがある。
- ・ Atlantida :
モンテビデオから50キロメートルのところであり、小型ではあるが海岸の松林と砂浜に恵まれた避暑地で、ホテル、カジノ、レストランなどがある。ブエノスアイレスやブラジル南部の都市からここに避暑にくる人もいる。
また、ウルグアイ川に沿ったアルゼンチンとの国境のサルト県とパイサンドゥ県には天然の温泉があり、保養地となっている。ウルグアイ人のみならず、多くのアルゼンチン人が保養のため訪れる。その主なものは、次のとおりである。
- ・ Termas Arapey :
サルトの北方約 100キロメートルにあり、温水プール、ホテル、レストランなどがある。冬場は早めにホテルを予約しておく必要がある。
- ・ Termas Dayman :
サルトの郊外にあり、温水プール、ホテル、レストランなどがある。
サルトやアルゼンチンとの国境に近い都市からの日帰り客も多い。

18-3 旅行代理店

モンテビデオ市内には数多くの観光旅行エージェントがある。国内用としては主なバス会社が経営しているエージェントを利用する方がよい。又は、Tres

Crucesバス終点からウルグアイ中にバスが走るの、調べても良い。

www.trescruces.com.uy/horarios.php

・Le Monde

電話 : 2900-5464

・VYT

電話 : 2712-1881

・Jetmar SRL

電話 : 2902-0793

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



19-1 家財道具

(1) 輸送業者

該当情報なし。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 輸入貨物の受け取り港

該当情報なし。

19-2 自動車

(1) 一般状況

該当情報なし。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 現地での購入

長期専門家は無税で1台購入できるが、その手続などには時間を要し、身分証明書取得期間を含め実際に手に入るのは1.5～3ヵ月後である。

現地での新車、中古車の購入はきわめて自由に行なわれており、車種についても日本車を含め、たいていのものは入手できる。中古車についてはその機械的状態、所有権などについてよく調べる必要がある。なお売買契約、名義書き替えなどの手続は、すべて公証人に依頼しなければならない。

(4) 自動車登録

自動車登録手続は、モンテビデオ市役所に対し車両登録とナンバープレート(SOI)の交付を申請しなければならない。

(5) 免許証取得

日本の運転免許証を、日本大使館に依頼して運転免許証の書き替えの手続をしなければならない。

(6) 保険、税金

自動車保険は、国立保険銀行の専売業務となっているため、同銀行に申請する。新車の場合は、車両登録証と身分証明書またはパスポートを仲介業者に渡

し、申請の手続を代行してもらおう。中古車の場合は、保険銀行の査定を受ける必要がある。自動車保険には第三者保険をはじめ、これに盗難、火災などを組み合わせたもの、並びに全面損害保険などの 5種がある。かけ金は高額になるが、全面損害保険に加入した方が万一の場合を想定すると無難である。

20. 地方都市



該当情報なし。